



# あの頃の 国鉄

～昭和という時代に  
人々の暮らしを支えた  
鉄路と想いを語る～

今は懐かしい「昭和」という時代に、戦後日本の発展を支え続けた「日本国有鉄道」。苦しい中でも、心豊かに光り輝いた人々の生活があった時代。

明治26（1893）年の碓氷線の開通とともに、66.7パーミルの急こう配に挑む横川・軽井沢間の鉄道輸送を支えた横川地区をはじめ、「国鉄のまち」ともいわれるほど多くの国鉄職員とその家族が暮らしていた私たちのふるさと。

ふるさとに暮らし、鉄道員として安全運行に努めてきた元国鉄職員が、当時の仕事とともに、思い出を交えて語る。そんな講座をご用意しました。過ぎ去った時代を懐かしみながら、貴重な当時の知恵も共有しながら、ふるさとの未来づくりを想う講座です。みなさんも参加してみませんか。

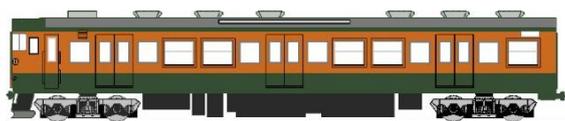
日 時 令和7年1月18日(土) 10時から12時

定 員 先着20名

講 師 田村 秀雄 氏（元電気機関士）  
岩坂 康男 氏（元電気機関士）  
竹田 福之 氏（元信号検査長）



申し込み 令和6年12月9日(月) 9時より、お電話にて受付開始



安中市ゆうあい館 TEL:027-393-3537  
安中市松井田町松井田524-2